

8/20に開催した夏季学校事務研修会のようなすをお知らせします。

**【階層別研修Ⅰ（基本研修）】** 参加者47名

5年未満の事務職員を対象に、『産前産後休暇・育児休業の事務処理について』を、サービス・共済組合・給与関係別に資料を作成し研修を行いました。

時系列に説明しながら、特休簿や給付金等の請求書、特例計算報告書等、自分で記入してもらう演習も行い、「大変勉強になった」や「事務処理資料はありがたい」という意見をいただき、有意義な研修であったと思います。



**【階層別研修Ⅱ（自己啓発研修）】** 参加者50名

経験年数5年以上15年未満を対象に、小浜市立今富小学校の岡村あゆみ主任を講師に迎え、前半は岡村様の経験談を交えながら、学校事務経営案と目標管理表の作成に向けての考え方についてのお話をお聞きし、後半は班ごとに話し合って学校事務経営案を作成しました。

「仕事の足跡をのこす」、「軸足をどこにおくのか」が大切と教えていただき、何のための学校事務なのか、学校という子どもの教育を担う場所の組織の一員として子どもの学びのために自分は何ができるのを教えていただき、明日からの仕事の活力になる研修でした。



**【階層別研修Ⅲ（自己啓発研修）】** 参加者116名

経験年数15年以上を対象に、講師に発創デザイン研究室の富永良史氏を迎えて、「有意義な話しあいの創り方～伝わる、交わる、生まれる～」をテーマに、ワークショップをしていただきました。

話しあいは、同じを見つけつつ、違いをおもしろがること。互いの思いを伝えあい、多様な考えが交われば、新しい知恵や勇気・行動が生まれ、ひとりではできないような成果につながります。事務職員だからこそ見えること、できることを考えた研修でした。

